

# 令和7年度 登米市地域包括ケア体制推進会議

長寿介護課・健康推進課・国保年金課・経営企画課

# (1) 地域包括ケアの取組みについて

## 1 前回の推進会議について

---

# 振り返り ～令和6年度 会議の概要～

## ●地域包括ケア体制の推進：取組みの方向性

### ・重点項目の確認と現状・取組みの見える化



- ①元気高齢者づくり
- ②自立支援と重度化防止
- ③地域の支え合いの体制づくり
- ④在宅療養体制の充実



### ・市の取組み内容の報告

- ①認知症への取組み
- ②高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施
- ③データヘルス計画等について
- ④登米市民病院における糖尿病の診療体制について

# 振返り ～令和6年度 会議の概要～

## ●会議での主な意見等

- 認知症について、認知症の本人は否定する傾向にあるため、気付かせる工夫が必要である。そのためには、本人だけではなく、関わる全ての人々が認知症の正しい知識を身につけ、連携して行く必要がある。
- 医療と介護の連携、高齢者の保健事業と介護予防の一体的支援により、病気や要介護状態の重度化を防ぐことが重要であり、今後も連携の継続、強化が必要である。
- 今後見込まれる2040年問題の対応が課題になると思われる。

## 2 制度改革、国の方針について

---

# 認知症施策推進基本計画

(令和6年12月閣議決定)

共生社会の実現を推進するための認知症基本法（令和5年法律第65号。以下「基本法」という。）に基づく国の認知症施策の基本計画。基本法に明記された共生社会の実現を目指すため、認知症の人本人の声を尊重し、「新しい認知症観」に基づき施策を推進するため、令和6年12月から同11年度までのおおむね5年間を第1期の計画として策定。

※「新しい認知症観」とは？

「認知症になったら何もできなくなる」ではなく、「認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方

## 基本的施策

### 1. 認知症の人に関する国民の理解の増進等

- ・ 学校教育、社会教育における「新しい認知症観」に基づく実感的理解の推進

### 2. 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

- ・ 認知症の人が自立し安心して暮らすための、地域における生活支援体制の整備（地域の企業や公共機関等での認知症バリアフリーの推進）

### 3. 認知症の人の社会参加の機会の確保等

- ・ 認知症の人自らの経験の共有機会の確保（ピアサポート活動の推進）

### 4. 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護

- ・ 認知症の人の意思決定支援に関する指針の策定、情報提供

### 5. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

- ・ 専門的な、又は良質かつ適切な医療提供体制の整備  
（認知症疾患医療センターの相談機能の充実）

### 6. 相談体制の整備等

- ・ 認知症の人の状況等に配慮し総合的に対応できる体制整備  
（地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等の相談体制整備）

### 7. 研究等の推進等

- ・ 予防・診断・治療、リハビリテーション・介護方法等の研究の推進・成果の普及

### 8. 認知症の予防等

- ・ 地域包括支援センター、医療機関、民間団体等の連携協力体制の整備（早期発見・早期対応・診断後支援まで行うモデルの確立）

### 9. 認知症施策の策定に必要な調査の実施

- ・ 若年性認知症の人を含む認知症の人の生活実態、社会参加・就労支援を促進する体制や社会実装の方策など共生社会の実現に関わる課題の把握と課題解決に向けた調査研究

### 10. 多様な主体の連携

- ・ かかりつけ医、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、認知症サポート医、認知症初期集中支援チーム、居宅介護支援事業所、認知症疾患医療センター等の連携及び地域住民を含む多様な主体との協働、分野横断的な取組の推進

### 11. 地方公共団体に対する支援

- ・ 地方公共団体の参考となるような取組の共有などの支援

### 12. 国際協力

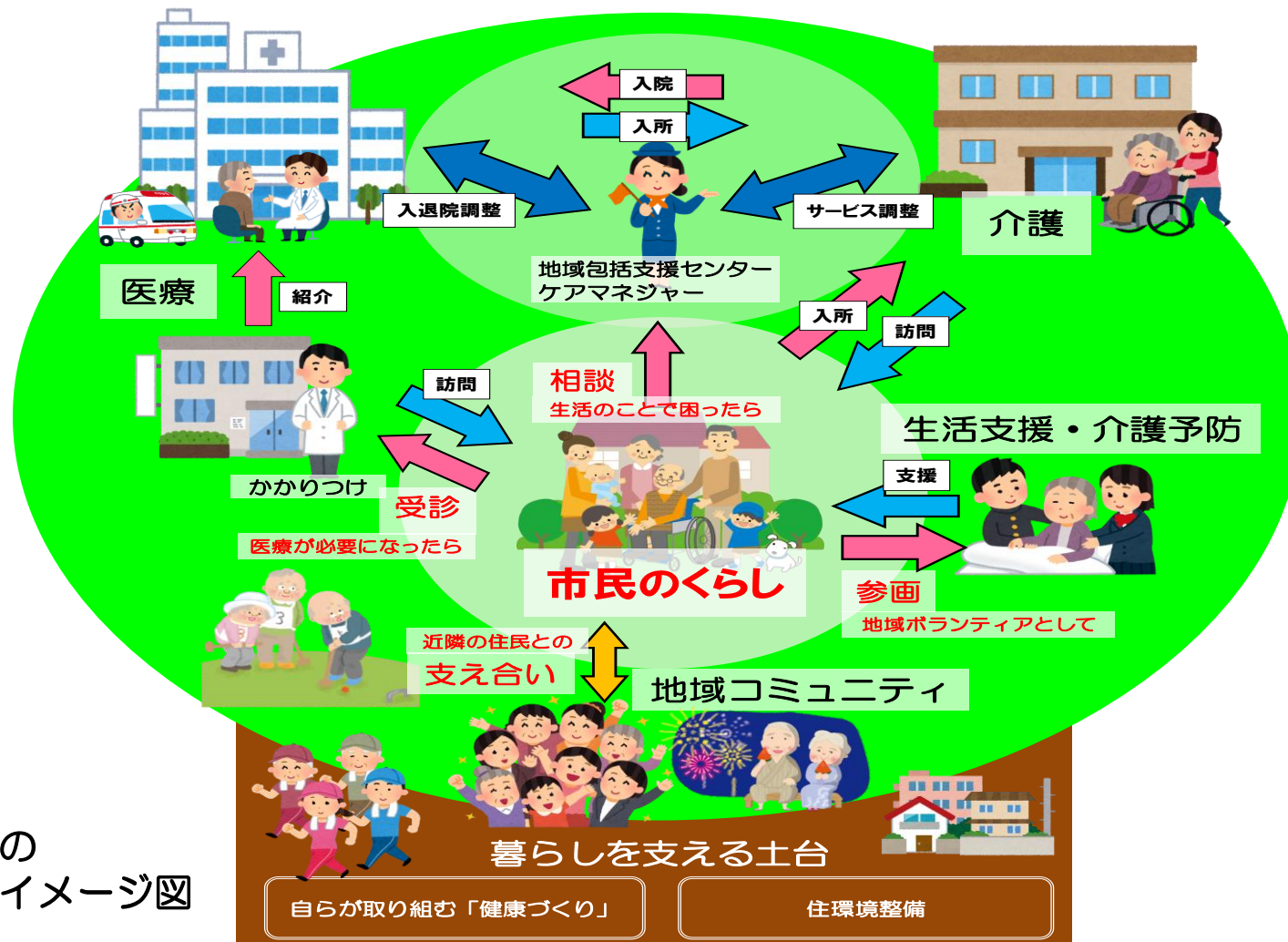
- ・ 外国政府、国際機関、関係団体等との連携、我が国の高齢化及び認知症施策の経験や技術について世界に向けて情報発信

# ～登米市地域包括ケアシステム～

登米市安全・安心・やすらぎプラン（高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画）

## 【基本理念】

住み慣れた地域で  
いつまでも暮らせる  
まちづくり



登米市の  
地域包括ケアのイメージ図



### 3 市の取組内容

#### ①認知症への取組み

#### ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

# 認知症基本法（令和6年1月施行）

## 基本理念

認知症施策は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、①～⑦を基本理念として行う。

- ① 全ての**認知症の人が、基本的人権を享有する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができる。**
- ② 国民が、共生社会の実現を推進するために必要な認知症に関する**正しい知識**及び認知症の人に関する**正しい理解**を深めることができる。
- ③ 認知症の人にとって日常生活又は社会生活を営む上で**障壁**となるものを**除去**することにより、全ての認知症の人が、**社会の対等な構成員として、地域において安全にかつ安心して自立した日常生活を営むことができる**とともに、自己に直接関係する事項に関して**意見を表明する機会**及び社会のあらゆる分野における活動に**参画する機会**の確保を通じて**その個性と能力を十分に発揮**することができる。
- ④ 認知症の人の**意向を十分に尊厳しつつ、良質かつ適切な保健医療サービス及び福祉サービス**が切れ目なく提供される。
- ⑤ 認知症の人のみならず家族等に対する支援により、認知症の人及び家族等が**地域において安心して日常生活を営むことができる。**
- ⑥ **共生社会の実現に資する研究等を推進**するとともに、認知症及び軽度の認知機能の障害に係る**予防、診断及び治療並びにリハビリテーション及び介護方法**、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすための**社会参加の在り方**及び認知症の人が他の人々と支え合いながら共生することができる**社会環境の整備**その他の事項に関する科学的知見に基づく**研究等の成果を広く国民が享受できる環境を整備。**
- ⑦ 教育、地域づくり、雇用、保健、医療、福祉その他の**各関連分野における総合的な取組**として行われる。

# 認知症高齢者の支援に対する課題

---

- 地域として、認知症の理解が不十分
- 認知症高齢者本人や家族を地域で支える仕組みづくりが必要
- 介護者に対する支援の場が不足

# 認知症高齢者の支援に対する目標

---

- 認知症高齢者本人の視点を取り入れながら、認知症高齢者本人が、可能な限り住み慣れた地域で生活を続けられるよう支援していく。
- 幅広い世代に、認知症に対する正しい理解が広まるよう、取り組みを進める。
- 本人や介護者同士の相談、交流の機会を提供していく。

～認知症になっても安心して暮らせる社会を～

# 具体的な取組～地域包括支援センターとの連携～

## (1)相談対応 (基本理念①③④⑤)

【認知症地域支援推進員】

(各地域包括支援センターに1名ずつ配置)

- ・令和6年度相談件数：422件（令和5年度比＋147件）

【もの忘れ相談】

- ・令和6年度相談件数：7件

## (2)認知症に関する研修について (基本理念②⑤)

【認知症対応研修】令和6年10月16日実施

- ・参加者数 42名（集合22名、zoom20名）

### (3)本人・介護者支援～その1～ (基本理念②⑤)

#### 若年性認知症当事者・家族交流会【お結びの会】

若年性認知症当事者・家族に対し、お互いの思いや気持ちを語り合い、相談や情報を得る場を提供する。

※若年性認知症とは、65歳未満で発症した認知症のことを言います。

##### <開催実績>

- 令和6年度：開催回数 1回 参加者数 12人（うち、当事者2名、家族2名）
- 令和7年度（8月末現在）：開催回数 1回 参加者数 13名（うち、当事者2名、家族1名）



令和7年6月11日

##### <参加の声>

（当事者）いろいろな方の話を聞くことが出来て良かった。これからも参加してみたい。

（家族）『認知症で亡くなった方はいない』という言葉が心強かった。次回も参加したい。

### (3)本人・介護者支援～その2～ (基本理念②③⑤⑥)

#### 認知症カフェ【オレンジカフェ】

認知症の方やその家族、地域住民などが、お茶やコーヒーなどを飲みながら、認知症に関する講義を聞いたり、同じ悩みを抱えている方の交流の場として、誰もが気軽に集える場所です。

中田・石越地域包括支援センター  
～役所カフェ～



#### <開催実績>

- 令和6年度：開催回数 23回 参加者数 311人
- 令和7年度（8月末現在）：開催回数 8回 参加者数 176人

令和7年6月12日  
石越総合支所

【認知症カフェ研修会】令和7年6月16日実施

・参加者数 17名



## (3) 本人・介護者支援～その3～ (基本理念①③⑤⑦)

### 【チームオレンジ】

認知症の当事者が出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の当事者やその家族のニーズに合った支援活動の取組を実施する団体を「チームオレンジ」と言います。

具体的な取組として、認知症の当事者等の主体性を重視した支援（見守り活動・話し相手）や認知症カフェ等を通じた認知症啓発活動などがあります。

本市では令和7年2月26日に【南方ナーシングホーム翔裕園～あがらんしえ～】をチームオレンジ第1号に認定しました。

翔裕園  
～あがらんしえ～



令和7年2月26日



## (4)普及啓発～その1～ (基本理念①②③⑤)

### 【認知症サポーター養成講座】

「認知症サポーター養成講座」とは、認知症高齢者及びその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進するため、認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症高齢者や家族を支援する認知症サポーターを養成する講座です。

令和7年3月12日と7月9日に登米市小中学校校長会で認知症サポーター養成講座に関する情報提供をしました。

#### <開催実績>

- 令和6年度：開催回数 24回 受講者数 673人
- 令和7年度目標値：開催回数 26回 受講者数 520人
- 令和7年8月末現在：開催回数 5回 受講者数 83人



サポーター養成講座の様子

## (4)普及啓発～その2～ (基本理念①②③⑤)



【認知症サポーターステップアップ講座】 年2回開催予定  
従来の認知症サポーターから認知症への知識をさらに深め、  
地域で活動できるサポーターを養成する講座です。

### ＜開催実績＞

- 令和6年度：開催回数 2回 受講者数 33人
- 令和7年度目標値：開催回数 2回 受講者数 30人  
(予定日：令和7年11月5日及び令和8年3月4日)

### 《参加者の声》

- ・認知症に関してや支援の在り方等、色々学ぶことができ、当事者の方の話も聞けてとてもよかったと思います。
- ・身近な問題。人事ではないことだったので、とても参考になりました。



令和7年3月5日開催の講座の様子

## (4)普及啓発～その3～

(基本理念③④⑥⑦)

【地域活動協力者】

ステップアップ講座受講者で  
啓発活動に協力して頂ける方

令和7年8月末：72人

(延べ登録者数)

今後の取組みに向けた勉強会



令和7年8月20日開催

【認知症ケアガイドブック】

登米市の相談先や支援内容を紹介



認知症地域支援推進員が、  
医療機関等に配布

相談窓口（地域包括支援  
センター）の周知

各関係機関と連携強化へ！

＜第4版 令和6年5月作成＞



## (4)普及啓発～その4～ (基本理念①②③⑥⑦)

### 【世界アルツハイマーデー・アルツハイマー月間】

【アルツハイマー月間】  
毎年9月

長沼ボート場クラブハウ  
スにて演奏会と認知症講  
座を開催  
(参加者30名)



令和7年9月25日予定

【世界アルツハイマーデー】  
毎年9月21日

地域活動協力者と  
ともに認知症に関するパンフ  
レット等の配布による啓発活動



令和7年9月19日予定

#### ＜啓発場所＞

- ①みやぎ生協 加賀野店
- ②セブンイレブン  
宮城登米町店
- ③道の駅 米山  
「ふる里センターY.Y」
- ④道の駅 みなみかた  
もっこりの里
- ⑤道の駅 津山  
もくもくランド
- ⑥JA新みやぎ津山支店
- ⑦ローソン 豊里店
- ⑧旧JAみやぎ登米豊里支店
- ⑨南方支所ロビー

# 今後について

## 地域の認知症に対する理解や関係機関との連携が重要

- 関係機関との連携を継続し、**早期発見・早期対応**に努める。
- 市の取り組みに**本人や家族の視点を反映**させていく。
- 認知症カフェの開催支援を継続し、認知症の方やその家族等、介護者同士の憩いの場や**情報共有の機会の場**を増やしていく。
- 今後も認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の受講を推進し、認知症に対する**正しい理解を広める**。
- 認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対し、見守りや声かけ、話し相手等を行う『チームオレンジ』の数を増やしていく。
- 地域や関係機関の皆さんと協力しながら、**認知症になっても安心して暮らせる社会の実現**に向け、各取り組みを行っていく。

### 3 市の取組内容

①認知症への取組み

②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

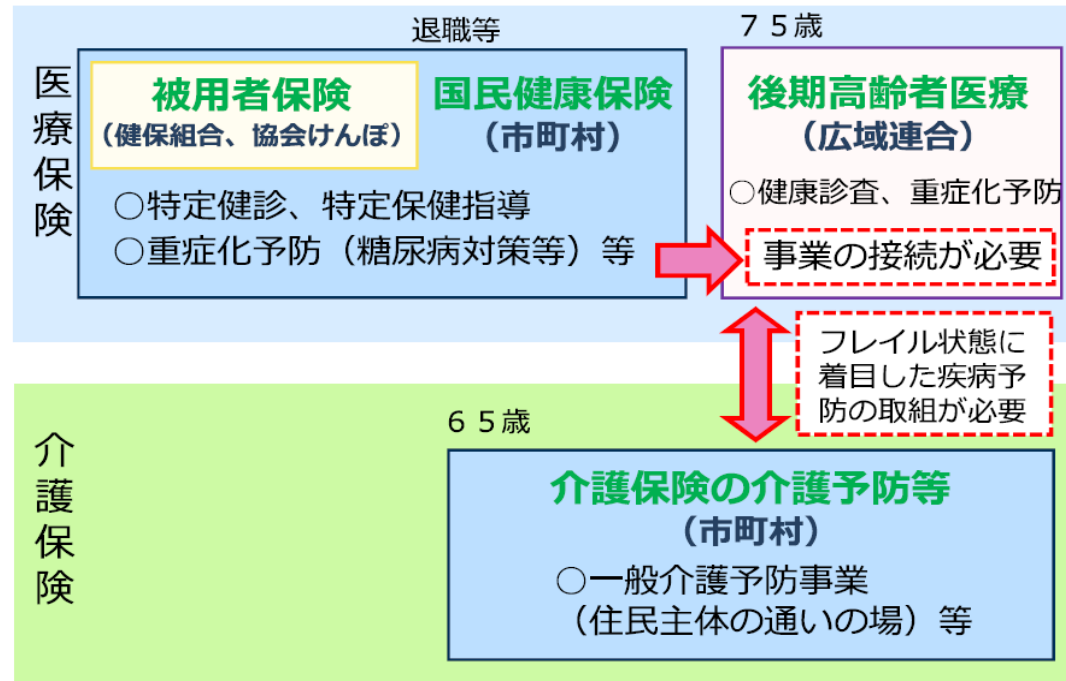
# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

厚生労働省  
高齢者の保健事業のあり方検討  
ワーキンググループ資料（R7.3）より

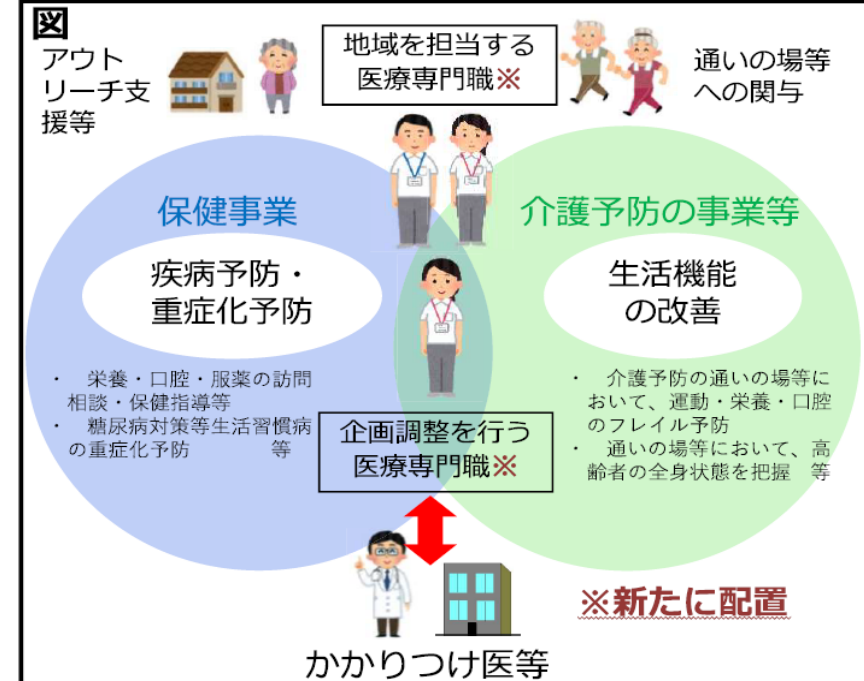
- 広域連合が**高齢者保健事業を国民健康保険保健事業及び介護予防の取組と一体的に実施する取組が令和2年4月から開始**された。
  - 広域連合は、その実施を**構成市町村に委託**することができる。
- 令和6年度において、ほぼ全ての市町村において一体的な実施を展開済み。
  - 令和7年度以降においては、実施市町村における取組の量の増加と質の向上を目指す。

高齢者医療課調べ（令和6年11月時点）

## ▼保健事業と介護予防の現状と課題



## ▼一体的実施イメージ



# 事業の目的と概要

目 的 高齢者の健康の保持増進と健康寿命の延伸

概 要 高齢者の健康課題を明確化し、特性を踏まえた保健事業を実施

	ハイリスクアプローチ		ポピュレーションアプローチ	
	内 容	実施 圏域数	内 容	実施 圏域数
令和4年度	健康状態不明者対策	1 (東和・登米圏域)	健康教育・健康相談	1 (東和・登米圏域)
令和5年度	健康状態不明者対策 糖尿病重症化予防	5 (市内全域) 5 (市内全域)	健康教育・健康相談① 健康教育・健康相談②	2 (米山・南方圏域) (豊里・津山圏域) 1 (東和・登米圏域)
令和6年度	低栄養	5 (市内全域)	健康教育・健康相談 気軽に相談できる環境づくり	2 (泊圏域) (中田・石越圏域) 5 (市内全域)
令和7年度	健康状態不明者対策 基礎疾患＋フレイル	5 (市内全域)	健康教育・健康相談 気軽に相談できる環境づくり	4 (中田、登米、米山、豊里) 5 (迫、石越、東和、 南方、津山)



# 登米市の健康課題

	登米市	宮城県	全国
脳血管疾患 標準化死亡比 (ベイズ推定値)	男性 137.4 女性 135.5	男性 121.6 女性 126.6	男性 100 女性 100
脳内出血	男性 187.3 女性 164.0	【標準化死亡比】: 年齢構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標 【標準化死亡比(ベイズ推定値)】: 小地域に特有のデータの不安定性を緩和し、 標準化死亡比推定を行ったもの  平成30年～令和4年人口動態保健所・市町村別統計	
脳梗塞	男性 115.5 女性 124.8		

## ▽後期高齢者健診 受診勧奨判定値該当者割合

	登米市	宮城県	全国
血糖	9.3%	9.3%	6.1%
血圧	21.9%	20.0%	24.2%
血糖かつ血圧	4.2%	3.5%	3.1%
BMI	28.7%	26.5%	23.0%

令和6年(累計)後期KDBデータ「地域の全体像の把握」

# 疾患別医療費分析【国保】(R2~R6)

登米市 国保被保険者	被保険者数	19,038人	18,599人	17,830人	17,115人	16,442人
	入院医療費	R2	R3	R4	R5	R6
	1位	統合失調症 (24,879,483点)	統合失調症 (22,872,339点)	統合失調症 (20,470,594点)	統合失調症 (19,805,791点)	統合失調症 (16,866,126点)
	2位	骨折 (11,426,231点)	不整脈 (12,190,903点)	慢性腎臓病透析有 (11,139,645点)	不整脈 (17,099,420点)	関節疾患 (11,987,257点)
	3位	不整脈 (9,484,222点)	骨折 (10,654,947点)	不整脈 (9,632,421点)	関節疾患 (11,185,497点)	不整脈 (11,487,453点)
	4位	慢性腎臓病透析有 (9,332,504点)	慢性腎臓病透析有 (10,346,586点)	関節疾患 (8,683,962点)	慢性腎臓病透析有 (9,421,521点)	骨折 (8,729,073点)
	外来医療費	R2	R3	R4	R5	R6
	1位	糖尿病 (36,456,685点)	糖尿病 (38,917,774点)	糖尿病 (41,358,340点)	糖尿病 (41,695,954点)	糖尿病 (41,566,481点)
	2位	慢性腎臓病透析有 (27,789,860点)	慢性腎臓病透析有 (26,652,619点)	高血圧症 (25,536,298点)	慢性腎臓病透析有 (24,839,738点)	高血圧症 (24,752,805点)
	3位	高血圧症 (26,299,779点)	高血圧症 (26,009,088点)	慢性腎臓病透析有 (24,974,812点)	高血圧症 (23,583,262点)	慢性腎臓病透析有 (24,675,942点)
	4位	関節疾患 (17,116,900点)	関節疾患 (17,481,821点)	関節疾患 (18,050,577点)	関節疾患 (17,630,600点)	関節疾患 (16,906,673点)

# 疾患別医療費分析【後期高齢者】(R2~R6)

登米市 後期高齢者	被保険者数	13,412人	13,228人	13,385人	13,609人	13,926人
	入院医療費	R2	R3	R4	R5	R6
	1位	骨折 (32,381,751点)	骨折 (30,840,310点)	脳梗塞 (25,553,242点)	脳梗塞 (27,452,761点)	脳梗塞 (27,045,181点)
	2位	脳梗塞 (28,310,043点)	脳梗塞 (26,266,574点)	骨折 (22,965,758点)	骨折 (25,485,958点)	骨折 (25,591,216点)
	3位	肺炎 (15,358,277点)	肺炎 (17,748,681点)	不整脈 (17,920,371点)	不整脈 (18,636,593点)	不整脈 (23,156,203点)
	4位	慢性腎臓病透析有 (12,767,191点)	不整脈 (15,197,517点)	肺炎 (17,533,568点)	肺炎 (18,036,622点)	肺炎 (19,831,609点)
	外来医療費	R2	R3	R4	R5	R6
	1位	糖尿病 (37,975,335点)	不整脈 (38,784,221点)	不整脈 (40,990,098点)	糖尿病 (42,529,128点)	糖尿病 (46,352,337点)
	2位	不整脈 (36,094,828点)	糖尿病 (37,453,534点)	糖尿病 (38,175,631点)	不整脈 (42,470,097点)	不整脈 (43,150,359点)
	3位	高血圧症 (30,625,835点)	高血圧症 (29,407,806点)	高血圧症 (30,907,319点)	高血圧症 (29,350,989点)	高血圧症 (35,450,287点)
	4位	関節疾患 (22,439,072点)	関節疾患 (21,775,942点)	関節疾患 (19,775,032点)	関節疾患 (20,341,955点)	関節疾患 (20,744,007点)

# 生活習慣に関する後期高齢者質問票の状況

(健診時) 後期質問票項目	登米市	宮城県	全国
【体重変化】 半年で2～3kgの体重減少あり	14.0%	11.2%	11.9%
【運動】 ウォーキング等の運動を週に1回以上していない	49.8%	37.3%	36.3%
【口腔機能】 半年前に比べて固いものが食べにくい	30.7%	26.9%	26.7%
【認知機能】 今日の日付がわからない時がある	26.9%	22.7%	23.8%

令和6年(累計)後期KDBデータ「地域の全体像の把握」(2025.7.23時点)

# 分析して見えた後期高齢者の健康課題

## #1

口腔機能の低下  
及び低栄養

## #2

筋・骨格系疾患の  
医療費割合が高い

＋活動量不足

## #3

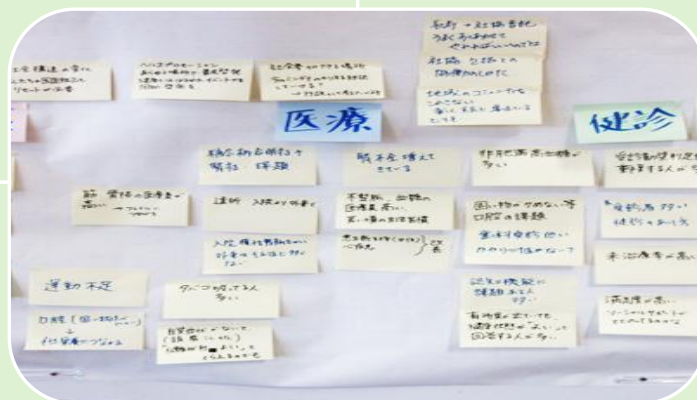
血糖コントロール不良  
からの重症化

＋糖尿病の医療費割合が高い

## #4

血圧コントロール不良  
からの重症化

＋高血圧のレセプト件数が多い



# 令和6年度 実施状況・実績①



## 【ハイリスクアプローチ(低栄養対策)】

市の健診結果（R5）で低栄養傾向の方に対し、総合支所の管理栄養士や保健師が訪問等により、健康相談や指導を行い、低栄養の予防を図った。

実績	対象者数
通知発送	106人
健康相談等実施（単発・複数回）	41人
（訪問等の継続支援を実施した者で評価可能な者25名中） 体重変化改善・維持していた者	15名（60.0%）
（訪問等の継続支援を実施した者で評価可能な者26名中） 3食きちんと食べている者	25名（96.2%）

＜低栄養傾向＞  
BMI 20.0以下かつ  
後期高齢者質問票「6か月  
で2～3kgの体重減少」で  
「はい」と回答している者

# 実施状況・実績②



## 【ポピュレーションアプローチ(通いの場における積極的な関与等)】

実施地区 2地区 (①迫町板橋 ②石越第四区 ミニデイ参加者)

参加者 2地区合計 実36人 (延べ114人)

内 容 1地区あたり4回の健康教室

保健師・管理栄養士・理学療法士による、食事・  
運動・口腔ケア等の講話や個別相談の実施により  
フレイル予防の啓発を行った



### 結 果

○体力測定…2種の測定(握力・開眼片足立ち)を教室の前後で実施し、5割の方が向上していた

○後期高齢者質問票…教室前を比べて、5割の方が改善又は維持していた

○アンケート(毎回)…各回とも内容の理解度、満足度は高かった

教室で学んだことを参加者の約7割の方が誰かに伝えていた



# 実施状況・実績③

## 【ポピュレーションアプローチ(気軽に相談できる環境づくり)】

実施地区 市内全域（公民館、集会所、商業施設 等）

健康相談 31回 延べ252人利用

健康教育 8回 延べ108人参加

内 容 高齢者が気軽に立ち寄れる場所に、保健師や  
管理栄養士が出向き、健康相談等を実施した

結 果 健康相談を利用した方（アンケート結果）の  
満足度は高く、住民のニーズに即した相談  
事業を実施できた



イオンタウン佐沼での健康相談



# 令和7年度の一体的実施事業の取組

## ハイリスクアプローチ

(健康リスクの高い人を対象とした取り組み)

### ①健康状態不明者対策

健診・医療の受診歴がなく、介護認定を受けていない方に健康に関するアンケートを送付し、返信がなかった方やアンケートの返信内容に応じ、保健師や栄養士、地域包括支援センター等が電話や訪問をして必要なサービスにつなげる

### ②糖尿病の心配がある方へのフレイル予防

特定健診結果で、血糖（HbA1c）が高値かつフレイルの心配がある方へ保健師・栄養士が訪問をして健康相談を行う

## ポピュレーションアプローチ

(集団全体を対象とした取り組み)

### ①いきいき健康教室

(中田、登米、米山、豊里町域のミニディ等にて)

- ・フレイル予防の啓発  
(栄養・運動・口腔・社会参加等)
- ・健康チェック等

### ②気軽に相談できる環境づくり

(迫、石越、東和、南方、津山町域の公民館やミニデイ、商業施設にて)

- ・気軽に相談できる場所で保健師や管理栄養士による健康相談を行う

# 今後について

---

- ◎健診・介護・医療費等のデータを分析し、  
地域の状況に応じた事業内容の検討
- ◎通いの場等への継続的な介入
- ◎庁内外の関係機関や多職種との連携強化